

大ドリコミュが開催 年を振り返り、目標を語り合う

1月13日（金） 飛騨市図書館

自身の経験や夢、目標などを語り合う「大ドリコミュ」が飛騨市図書館で開催されました。ドリコミュはドリームコミュニティの略で、メンタルコーチの関口祐太さんが昨年1月から毎月1回行っている取り組みです。

この日は市や高山市から中学生から大人まで 23 人が参加し、グループに分かれて昨年の出来事を振り返るとともに、今年の目標を語り合いました。

関口さんは「年齢や仕事など立場の違う方々が集まって交流し、応援し合う環境を作りたい」と話していました。



今年の目標を語り合う参加者

新 地域経済の発展を誓う 春経済懇談会が開催

1月7日（土） 古川町公民館

市と古川町商工会、神岡商工会議所、北飛騨商工会は飛騨市新春経済懇談会を開きました。市内の企業代表者や関係者など約 130 人が参加し、新年のあいさつや意見交換を行い、地域経済の発展を誓いました。

都竹市長は「今年は酉年ということで、いろいろなものが熟して実を結び、その果実（成果）を取り込んでいく年にしたい。映画『君の名は。』の大ヒットや古川祭のユネスコ無形文化遺産登録など様々なチャンスがある中で、それらの波をさらに大きく、地域の活力へとつなげていきたい」とあいさつしました。



あいさつする都竹市長

着 冬の風物詩 三寺まいり 物とろうそくで町を彩る

1月15日（日） 古川町

古川町で200年以上続く冬の伝統行事「三寺まいり」が開催され、前日から続く大雪でしたが約10,000人が足を運びました。

三寺まいりは、親鸞聖人の御遺徳を偲んで、円光寺、真宗寺、本光寺をお参りする習わしで、明治時代からは、糸引きに行った女工たちが帰省し、着飾ってお参りをしたので、絶好の出会いの場となりました。

この日、瀬戸川沿いには1,000本の和ろうそくが灯され、家族連れや着物姿の女性がゆらめく炎に手を合わせる姿や、恋愛成就を願う灯籠が瀬戸川に静かに流れる様子など幻想的な雰囲気に包まれていました。



千本ろうそくに願いを込める女性

こ 小枝志づ子さん100歳長寿者褒賞 これからもお元気で

1月7日（土） ホテル季古里

古川町壺之町の小枝志づづさんが100歳を迎えられました。

都竹市長が「小枝さんと話をしていると、こちらが元気をもらえます。これからもご家族皆さんで元気に過ごしてください」と声をかけながら、お祝いと花束を渡しました。小枝さんは「畑仕事などを続けて、ますます元気で頑張りたいと思います」と話していました。

この日はホテル季古里に家族や親族ら20人が集まり、小枝さんの満100歳を祝う会を開催しました。



お祝いと花束を手にする小枝さんと都竹市長

打 旭保育園で親子そば打ち教室 ちたてそばを堪能

1月23日（月） 旭保育園

神岡町の旭保育園で1月23日、地元で収穫したそばを利用した親子そば打ち教室が開かれました。

地元にゆかりのあるもので体験事業ができればとの思いから始めた企画で、年長児親子34人がそば打ちを体験しました。

そばの振興に取り組む「流葉切雲そばの会」の協力で、神岡町伏方地区に園児らが8月に播種し、植え方や花の色、実の形などそばの特徴を学び10月には無事収穫しました。この日は、同会の出井正蔵さんら4人が、こね方や伸ばし方などを指導。園児らは、小さな手を器用に使いそばを打ち上げ、かけそばにしておいしくいただきました。



出井さんの指導の下、そば粉をこねる園児

51 第1回河合・宮川町民剣道大会 人の剣士が熱戦を繰り広げる

1月15日（日） 河合小学校

第1回河合・宮川町民剣道大会が開催されました。

昨年度まで各町で開催していた町民剣道大会を、本年度から合同で開催することとなり、記念すべき第1回目となった今回は、両町内の小学生から一般まで51人の剣士が参加し、日頃の練習の成果を競い合いました。

大会は、小学生の部や中学生の部、一般の部と年齢ごとに分けて、団体戦と個人戦が行われました。なお、前日からの大雪の影響で、予定していた一般・壮年の個人戦は中止となりました。



技を繰り出す少年剣士たち

長 大門ハナさん100歳長寿者褒賞 寿をお祝い

1月30日（月） 古川病院

古川町貴船町の大門ハナさんが100歳を迎えられました。

小倉副市長が「100歳おめでとうございます。健康に気をつけて、これからも長生きしてください」と声をかけながら、お祝いと花束などを渡しました。この日は、家族の方や病院関係者、市職員で「ハナさんおめでとう」などと祝いの言葉や拍手を送り、盛大に祝いました。

家族の方は「みなさんのおかげで100歳を迎えることができました。このように祝って頂き、ありがとうございます」と話していました。



お祝いと花束を手にする大門さん家族と小倉副市長

高 投票率の向上へ 高校生が期日前投票

1月16日（月）～20日（金） 市内各高校

昨年6月から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた事を受けて、飛騨市選挙管理委員会は県知事選の期日前投票所を古城高校、飛騨神岡高校、飛騨古城特別支援学校に設置しました。

生徒らは校内の一室に設けられた期日前投票所で、同委員会の説明を受けながら、期日前投票の宣誓書に記入し、投票用紙を受け取り、初めての投票を行いました。生徒は「初めての選挙で緊張した。いつも通っている学校で投票できるのは、すごく助かりました」と話していました。



各投票所で投票する生徒ら



手 市と東京大学宇宙線研究所が協定を締結 を携え宇宙素粒子物理学の発展と市の活性化を目指す

1月22日（日） 文化交流センター

市と東京大学宇宙線研究所はさまざまな分野で相互に連携し協力することを目的に、連携協力協定を締結しました。連携協定は、最新の学術研究や研究成果の発信と普及を目的とするための事項や地域社会の発展に寄与するための事項など5つの項目で結ばれました。

1月22日には、文化交流センターで締結式が行われ、都竹市長と同研究所の梶田隆章所長がそれぞれ協定書に署名しました。都竹市長は「神岡町の研究所は、ノーベル物理学賞受賞者2人を輩出している。これは市民はもちろん、国民にとって大きな誇りです。今回の協定を機に、今までの関係をより強固なものにして、更なるノーベル賞受賞者を生み出して頂けることを期待しています。市として、全面的に皆さんの研究を支援していきます」と挨拶しました。梶田所長は「宇宙物理学の分野で世界をリードしている本研究所の中核をなす実験施設は飛騨市に位置しており、地元の皆さんにはお世話になってきました。協定を締結した今後は、市や地域社会の発展に何らかの形で寄与していきたいと思います。この協定を締結できたことを、心から感謝しています。今後ともよろしくお願いします」とあいさつしました。

この日は、梶田先生による特別講演会も行われ、約500人の来場者は宇宙物理学への興味を深めました。



協定書を手にする都竹市長と梶田所長



梶田先生による特別講演会の様子

約10年ぶりに「おくひだ1号」が復活 ストライプフェスティバルin神岡の開催が決定！

1月25日（水） 神岡町 旧奥飛騨温泉口駅

市とNPO法人神岡・町づくりネットワークは1月25日、「ロストラインフェスティバル in 神岡」の開催記者発表を行いました。

今年4月8、9日の両日に行われるこのイベントでは、2006年12月に廃線となった旧神岡鉄道のディーゼル気動車「おくひだ1号」の記念乗車会や全国の廃線利活用を行う団体や自治体でのネットワーク構築を目的とした「日本ロストライン協議会」の設立総会、講演会などが行われます。

記者発表で、同法人の鈴木進悟理事長は「レールマウンテンバイクのように、廃線を利活用している全国の皆さんと情報発信や協議できる場を設けようと協議会とフェスティバルを行う。全国の自治体や関係者と連携しながら、利活用の方法を探っていきたい」とあいさつしました。都竹市長は「非常におもしろい取り組みになると確信している。イベントの中で、車両が動くという姿を見せることは大きな力になり、神岡の方に大きな希望と勇気を与える。市としても全面的に支援・協力していきたい」と挨拶しました。

この日は、おくひだ1号のエンジンを起動する様子が公開されました。



おくひだ1号のエンジン起動の様子



あいさつする都竹市長